

2024年5月22日

関係各位

公益財団法人 JAPAN BOWLING  
会長 北川 薫



NHK杯第57回全日本選抜ボウリング選手権大会に関して

2024年5月17日より19日にかけて、埼玉・新狭山グランドボウルにおいて開催いたしました、NHK杯第57回全日本選抜ボウリング選手権大会において、男子優勝決定戦の一部の投球がファールであった可能性があり、当団体では調査および協議をいたしました。以下報告いたします。

当該の投球は、本来はファールと判定されるものであったと確認されました。しかしファール判定器が作動しなかったためファールは検知されず、審判員による宣告もなされなかったため、有効な投球としてスコアが記録され、ゲームを続行、完了いたしました。

当団体の競技規則第121条（ファールの宣告）において「ファールの宣告は、審判員又はそれに準じた者が行う。宣告は投球の完了後、その投球者又は次の投球者が投球態勢に入るまでの範囲で採用し宣告する。」としております。当該の投球については、規定の範囲内においてファールの宣告がなされませんでした。そのため有効な投球と見なされ、倒したピンはスコアとして記録されます。

以上の理由により、記録の修正はしないものとします。また今大会内でファールを宣告されなかった全ての投球に関しても同様であるため、今大会のスコアおよび順位は全て修正せず確定することといたします。

当団体は本件を受けて、ファール判定器の作動状況に関する現地調査を実施いたしました。ファール判定器のスイッチをオンにしてからオフにするまでの間に、ファールを検知する場合と、ファールを検知しない場合のいずれかが発生することを確認いたしました。今後、機器メーカーにおいてファール判定器を詳細に検査していただくことといたします。

本件に関しては、ファール判定器の動作確認や、ファールを判定する審判員の配備など、正確なファール判定のための体制が不十分であり、すべて主催者の責任であります。選手をはじめ、関係者の皆様に多大のご心配とご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

公式記録、成績に関わる重要な事項において、このような不備が発生したことを重く受け止めております。当時の状況、原因および再発防止策に関しては、引き続き当団体において詳細を調査・検討し、報告書を取りまとめることといたします。今後、大会運営に細心の注意を払い、万全を期すよう努めてまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。